

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページでも公開を希望する

URL www.med.osaka-cu.ac.jp/infectioncontrol/

承認番号	4240
研究課題名	大学病院における周術期抗菌薬使用の実態調査
研究の意義・目的	医学の進歩にも関わらず、世界的に薬剤耐性菌による感染症が世界的な脅威とされています。手術前後における抗菌薬使用については、現在様々な知見が集積し、「適切な抗菌薬」を「適切なタイミング」で、「適切な期間」投与することが最も重要とされています。日本では、周術期抗菌薬の投与期間が長く、経口の経口薬が用いられている傾向がありました。日本では、2016年に化学療法学会・外科感染症学会より「術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン」が発表され、実臨床の指針として活用されています。今回、この調査を行うことで、「周術期の抗菌薬が適切に使用されているのか」という観点から、「不要に処方されている抗菌薬がないのか」という観点から調査をさせて頂くことをこの研究の目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後 ～ 2020年12月31日
研究対象者の範囲	2018年の9月3日から12月14日までの連続した4週間を対象とし、その期間に行われる予定手術を受けた18歳以上の患者を対象とする。
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 他の施設が共同研究の代表施設として研究いたします。
	検査データ、診療記録
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学 教授 八木 哲也 大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 講師 山田 康一
この研究を行っている施設（共同研究機関）	<p>本学における実施体制</p> <p>【研究責任者】大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 講師 山田 康一</p> <p>【実施分担者】大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 教授 掛屋 弘 大阪市立大学大学院医学研究科細菌学 教授 金子 幸弘 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 主査 中家 清隆</p> <p>【共同研究機関・共同研究者】広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜 奈良県立医科大学 感染症センター 准教授 笠原 敬 山形大学医学部附属病院 感染制御部 病院教授 森兼啓太 東京医科歯科大学医学部附属病院 感染制御部 准教授 貫井 陽子 信州大学医学部附属病院 感染制御室 助教 金井 信一郎 東京医科歯科大学歯学部附属病院 総合診療科 准教授 砂川 光宏 横浜市立大学附属病院 感染制御部 部長 加藤英明 防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 講師 藤倉雄二 富山大学附属病院 感染症科 准教授 酒巻一平 浜松医科大学医学部附属病院 検査部 助教 古橋 一樹 京都大学医学部附属病院 感染制御部 部長 長尾美紀 大阪大学医学部附属病院 感染制御部 薬剤師 小門 諒平 滋賀医科大学附属病院 感染制御部 副部長 大澤 真 大阪市立大学医学部附属病院 臨床感染制御学 講師 山田 康一 鳥取大学医学部附属病院 感染症内科 教授 千酌 浩樹 九州大学病院 グローバル感染症センター 薬剤師 矢野貴久 鹿児島大学病院 感染制御部門 部門長 川村 英樹 熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部 准教授 野坂 生郷 九州歯科大学附属病院 外科 教授 中島 秀彰</p>

代表施設のURL	https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/laboratory/clinical-med/biomed-regulation/infectious-dis/
研究の成果を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表します
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	連絡先 臨床感染制御学 山田 康一 住所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-3784 FAX 06-6646-6056 E-mail koikoi@med.osaka-cu.ac.jp